

# ようじえんだより 2023年度11月号

十日町幼稚園 〒948-0083 十日町市本町西1丁目253番地  
Tel:025-752-2068 Fax:025-752-2189

## 11月主題『深まる』

主題聖句：地はお造りになったものに満ちている。

詩編104編24節

☆ 0歳児：お祈りやさんびかを通して心地よさを感じる。興味、探求心が深まり、活動的になる。たくさんの自然物に触れ、喜ぶ。(保育者は) 神さまからの豊かな恵みを子どもたちと一緒に感謝する。

☆ 1～2歳児：神さまを身近に感じて喜んで讚美やお祈りをする。自分で考えたことや思ったことを言葉にして表す。自然の恵みを感じ感謝する。(保育者は) 子どもと一緒に考えたり選んだりできる環境を用意する。

☆ 3歳児：神さまが全てのことを備えていてくださることを知り、感謝する。友だちと同じイメージをもって、遊びを続けることがうれしくなる。秋の自然物を集めたり、触れたり、並べたりして楽しむ。(保育者は) 保育者間、また保護者と連携し、子どもたちの生活、発達について深く読み取る。

☆ 4～5歳児：五感を通して秋の実りや季節の移り変わりを感じ、神さまへの感謝の思いを分かち合う。思いを伝えあい遊ぶ中で、うまくいなくて困る経験や、気持ちを通じ合う喜びを感じる。落ち葉やドングリ、枯れ枝や蔓(つる)など様々な自然の素材を身近に感じ、製作や表現に取り入れる。(保育者は) 一人一人の成長や友だち関係の変化を深くとらえ、連携を取り必要な関わりや願いを共有する。

## 乳幼児期の子育てにおいて大人が気をつけること⑦～子どもに家族としての役割を～

3歳以上になってくると子どもが「私がやりたい!」「手伝う!」という場面が出てきます。時間がかかったり、場合によっては失敗することもあるでしょうが、子どものこのような気持ちは大切に受け止めたいと思います。家族内でのお手伝いを通して自分ができることを増やし、役割の一端を担っていることは自分に自信が付き、同時に幼児期の後半にみられる、友だちとの協同的な関わりのきっかけになると思います。

昨今は、「ヤングケアラー」という未成年

が過度に家族内で様々な役割を担わされていることが問題となっていますが、これは家庭が、病気や貧困、そして何より適切な公的援助が受けられていないゆえに起こっている問題です。しかしこれだけをもって子どもたちが自分のことだけをし、家族の一員として役割を果たさないことがあるならば、それは社会で生きる力が育たないこととなります。

家族は最も基本的な共同体の単位です。そこで愛される体験をたくさんして、同時にお手伝いを通して、自分の周囲にいる人を助け、支えていく力を身に付けていくのだと思います。

園長 久保田愛策

## 年間主題『ともにつむぎだす～希望の中で～』

主題聖句：キリストはおいでになり、遠く離れているあなたがたにも、また、近くにいる人々にも、平和の福音を告げ知らせられました。

新約聖書 エフェソの信徒への手紙2章17節